

## 事業報告書（令和1年度）

事業名 (支え合う地域づくりを目指して) 町内の課題克服と地域リーダー養成のための学習会

団体名 津倉わいわいESD 担当者名 小楨章生

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

### 1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

別紙(令和1年度 津倉わいわいESDの活動実績表)のとおり

- ・6月9日 ESD総会 「2019年度活動の総括、年間活動計画の承認」  
10:00～11:30 津倉町集会所
- ・6月21日 伊島小学校の課外授業  
・2年生 60名が津倉公園に集合。公園内の遺物の説明と町内の活動について説明し、児童の課外学習に協力した。
- ・7月8日 講演 「水害への備えについて」  
・岡山市における最新の情報を学んだ。ここ数年短時間に集中して雨が降る傾向がある。最新のハザードマップ確認し、逃げるタイミングを失わない様にする事。  
13:00～14:00 津倉町集会所
- ・8月20日 子供とのふれあいイベント)  
・カフェのメンバーと町内の子ども達のお好み焼きパーティを開催。毎年の交流会。  
11:00～13:00 津倉町集会所
- ・8月25日 子供夏祭り  
・夏休みの子供達の思い出づくり&高齢者とのふれあいを図った。  
・軽食はカフェメンバーの手作り&高齢者が教える昔遊びで盛り上がった交流。  
12:00～14:00 津倉町集会所
- ・9月29日 お月見茶会  
・小学生が日頃の見守りに感謝を込めて、町内の皆さんへお茶を点ててもてなす。  
・ESDが小学生に茶道の稽古とお手伝い。  
14:30～17:30 公園内
- ・10月20日 講演「支え合う地域づくりを考える」  
・高齢者の増加による生活不安について地域支援の在り方を学習した。  
・ふれあいカフェの活動に評価が集まった。(独居老人の世帯:14%)  
10:00～11:30 津倉町集会所

- ・10月4日 伊島小学校の課外授業
  - ・2年生31名が津倉公園に集合。公園内の遺物を探検する授業。
  - ・遺物の歴史について説明し、児童の課外学習に協力した。
  
- ・12月28日 講演 「ヤクルト健康教室」
  - ・健康寿命の延ばし方について学習した。
  - ・介護などを必要とせず健康で長生きしましょう！10:00～11:30 津倉町集会所
  
- ・12月22日 ふれあいカフェのクリスマスパーティ&忘年会
  - ・カフェのメンバーを中心として独居老人を招待したパーティを開催した11:00～14:00 津倉町集会所
  
- ・1月13日 ESD 役員会 & 新年会(カフェのメンバー中心)
  - ・新年度の活動計画について協議した。
  - ・参加者の増員計画と町内会との連携を模索11:00～14:00 津倉町集会所
  
- ・1月20日 ヤクルト工場見学(課外研修)
  - ・工場内で見学と健康教室を受けた。 帰路、交流を兼ねてランチ会を実施した。9:30～14:30 ヤクルト和気工場
  
- ・1月26日 京山地区 ESD フェスティバルへ参加
  - ・伊島学区を代表して「津倉わいわい ESD」の活動を報告した。
  - ・毎週に開催している「ふれあいカフェ」に関心が集まった。
  
- ・2月20日 講演 「クレジットカードの選び方と安全な使い方」
  - ・消費税増税のポイント還元を利用しよう！
  - ・高齢者にも比較的安全なカードの使い方を学習した。19:00～20:30 津倉町集会所

**※ふれあいカフェ**： 毎週:月曜日(13:00～16:00)開催 常時 12～15 名参加

高齢者の居場所づくり活動を図りながら「支え合う地域づくり」を目指す

{特記イベント}

●手芸

・苔玉作り ・バクバクポーチ ・ガラスペンダント ・松ぼっくり ツリー

・ハーバリウムボールペン ・クリスマスオーナメント ・ハンドタオル人形

●映画鑑賞

●ランチ

●健康体操およびペタンク、気功法の導入

●オーガニック商品の販売

2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

- ESD 講座で岡山市支え合い推進員を招き、これからの高齢者対策について講演をしてもらった結果、町内会として「高齢者対策」に取り組むことになった。また、児童の登下校時の見守りについても ESD 活動と協調する方向になった。
- 高齢化の進む町内の実状を踏まえて、10年前後に到来する課題への準備学習を行った。現在の独居老人世帯は31、近い将来は20~30%超になると考えられる。継続して出来る「ふれあい交流」から共助の精神醸成に努めた。
- 町内で多数の人が参加可能で持続可能な行事を形成し、「支え合う地域づくり」の精神醸成に貢献できた。(ラジオ塔を活用したラジオ体操および野点茶会、独居老人を囲むクリスマスパーティー)  
毎週実施している「ふれあいカフェ」は、高齢者から「ここへ来るのが楽しみ！」という参加者が多い。メニューに手芸を増加したことで、見るだけ、しゃべるだけから手先を使うことの楽しみが現れている。また、自分の作ったものを友人や家族にプレゼントする喜びが生きがいになるようだ。

3. 取組の成果(参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など)

- 成果の一番は、何といても「ふれあいカフェ(毎週1回開催)」の定着と充実である。  
総括を踏まえて、参加が増えるようメニューの見直しやPRを行った。その結果、「ここへ来るのが楽しみ。あれを又やりたい。」という声が聴かれる。主催者にとっては、遣り甲斐のある状況になってきている。この状況から親しさ、友情、共助の精神に繋がっていると感じている。

準備するESD会員は、相変わらず大変であるが高齢者の方には大層喜んで頂ける結果となっている。一方で、カフェが浸透して参加者全体が運営に協力するようになってきている。

- 講座会に参加してくる顔ぶれは、テーマにより様々であるが我々が目指すところは「支え合う地域づくり」であり、その為に地域の現状と今後の推移を予測するなかで「今やらなければならないこと。今から準備しておかなければならないこと。」を実践することである。したがって、講座テーマについては、家庭において直ぐにも実践すること、意識の改革を図りこれから実践していくことに分けている。

・「お茶会」は、小学生や幼児が休日を利用して点前を修練し、親や祖父母に感謝を込めて振舞う。この「ふれあい茶会」は、例年微笑ましい光景のイベントになっている。今年も、ラジオ塔から流れる琴の音を聞きながら野点茶会を行なうことが出来た。しっかりと町内の老若男女が集う交流で地域づくりに貢献できたと思う。

- ラジオ塔の発見・活用から町内会イベントの位置づけが変わり、参加者意識に変化がみられる。(伝統行事を引き継いで、老若男女の交流を促進する)引き続き、ESD 活動として町内会行事に協力して行く。また、伊島小学校の2~3年生が課外授業として「ラジオ塔」や「公園内の遺物」の研究に訪れる。その都度、ESD から説明を行い協力している。

4. 今後の課題と展望

- 独居老人の世帯が急激に進んでおり、町内会でもどのような生活状況の人なのか把握しきれていない。

(様式第8号)

その中であって「支え合う地域づくり」は急務と考えている。10年後は一人住みの世帯が30%程度となっているだろう。高齢者の生活環境は大きく変わってくる。この大きな問題は、町内会で取り組まなければならない課題である。町内会として高齢者対策を行う動きになってきたが、「なにをしたら良いのかわからない状態であり、ESD活動から得られた知見、ヒントを共有して活動につなげて行きたい。

・次世代の地域リーダーの発掘は難しいが、避けて通れない道であり今後は幅広く交流が図れる行事を企画して、地域リーダー養成を町内会と連携して行いたい。

津倉わいわいESDの活動実績(令和1年度)

開催日	イベント 講師および主催者	活動内容	参加者数	摘要
6/9	ESDの総会開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度の活動総括および収支報告</li> <li>・令和1年度活動計画提案</li> <li>・ふれあいカフェの「毎月計画」提案</li> </ul>	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいカフェの充実と参加者の増員計画協議</li> </ul>
6/10	ESDカフェ 苔玉作り  講師 宮崎早苗・小楨敏子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェ参加者の手芸を通じたのリハビリ活動</li> <li>・家の中に飾ることで、癒し効果も期待できる。</li> </ul>	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物、苔、用土など自然に直接触れる感覚は高齢者の心を和ませる。</li> </ul>
6/21	ESD講座 伊島小学2年生の課外授業 「たこ公園の遺物探検」  ESD代表 小楨が説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学2年生60名が公園に集合。</li> <li>・公園内の遺物を解説し、児童の課外授業のお手伝いを行った。</li> <li>※伊島小学校から説明の依頼あり！</li> </ul>	63	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ塔、区画整理事業の礎石、花壇など他の公園にないモノがある。</li> </ul>
7/1	ESDカフェ パクパクポーチ作り  講師 小楨敏子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェ参加者の手芸を通じたのリハビリ活動</li> <li>・片手で開け閉めできるパクパクポーチは高齢者の人気。</li> </ul>	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化粧品、カード、小間物入れに便利だ。</li> </ul>
7/8	出前講座 水害の備えについて  講師 岡山市河川災害室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想定外の豪雨により未曾有の災害が全国で起きている。岡山市における最新の情報と備えを学んだ。</li> </ul>	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津倉町地域でも想定浸水は最大 3~5mという数字に驚き。</li> </ul>
7/15	ESDカフェ ガラスペンダント作り  講師 横木真由美	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェメンバーの高齢者に加えて、祭日でお休みの小学生も参加した。</li> <li>・自分だけのオリジナル作品で友人へのプレゼントに最適。</li> </ul>	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生がカットした大量のガラスを使って、自分好みにアクセサリーに仕上げる。</li> </ul>
8/25	子どもたちとのふれあい 「夏休みの思い出づくり」の開催 ・ESD会員が手作り料理を振る舞い、ゲームでふれあった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマ:「夏休みの思い出づくりに協力し、ふれあいを図る」</li> <li>・祖母・祖父が教える昔遊び</li> <li>・年齢差を超えた交流「ピンゴゲーム」</li> <li>・ペタンク大会</li> </ul>	48	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供とのふれあい</li> <li>・おでん、焼きそば、赤飯おにぎり等で高齢者が子供をおもてなし！</li> </ul>

9/29	協賛イベント 「お月見茶会」  津倉町内会主催のイベント のESDが協賛  講師 小楨宗敏、ESD有志	・町内の児童にお茶の作法を指導し、お月見の時期に「町内のお月見茶会」を開催する。 ・ESDから講師を派遣する。20数名の児童が6～7回の茶道指導を受けた後、野点茶会を開催する町内最大イベントとなっている。	105	・小学生の児童が、日頃の感謝を込めて「父母、祖父母、町内役員さん」に心を込めて一服のお茶を差し上げる姿に毎年感動する。
10/20	ESD 講座会 「支え合う地域づくりを考える」  講師 岡山市支え合い推進員	・地域の課題となっている「高齢者家族の増加」による生活不安や支援の在り方を考える機会をもちました。 ・これから取り組むべき「地域の課題」が浮き彫りになった。	26	・地域のイベント、集会への参加等で要介護率が低下する資料提供あり。 ・カフェへの参加を促したい。
10/21	会員会議	・ESD事業の浸透と活動の見直し ・地域リーダー養成に向けた活動計画 ・協力会員の増員計画と子供とのふれあい夏祭りの総括	15	・まずは、ESD活動のPR ・地域リーダーの発掘に尽力する。
10/21	ESD カフェ 「松ぼっくりツリー」作り  講師 細川展子	・季節の素材(松ぼっくり)を使った手芸教室を開催した。 ・この作品作りには、松ぼっくりの傘隙間に挿入する数多くの玉が必要だ。2000 個あまり玉芯(粘土製)は、講師から提供された。	13	・手作業で数多くの色玉を挿入するので、「リハビリ」のも最適。根気のいる作業でした。
10/4	ESD 講座 伊島小学2年生の課外授業 「公園の使い方・遺物の探検」  ESD代表 小楨が説明	・小学2年生 31名が公園に集合。 ・公園の使い方、公園内の遺物を解説し、児童の質問に対応した。  ※伊島小学校から説明の依頼あり！	33	・公園の管理や今後の使い方に関わる質問も出て、真剣な回答に努めた。 ・ラジオ塔など他の公園にない遺物がある魅力を再認識した。
11/1	ESD カフェ 「ハーバリウム・ボールペン」づくり  講師 小楨敏子	・いま流行りの「ハーバリウム・ボールペン」を自分でつくろう！ ・カフェの高齢者に加えて、小学生が17名参加の賑やかな手芸教室となった。 ・ドライフラワー、ラメ、ビーズ、真珠、金粉など自分のセンスで仕上がりを決まる。	25	・クリスマスが近いとあって、プレゼントに最適と一人で2本以上、中には10本作った人もあった。

12/14	ESD カフェ 「クリスマス オーナメント (装飾品)」づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマスツリーや装飾品にちょっとした色付けに最適</li> <li>・材料は、意外にもトイレットペーパーの中芯と毛糸というのかわいいので、一人で3個以上を仕上げた。</li> </ul>	15	・個人のセンスが色合い、形に現れる。
12/28	講座会 健康教室 「健康寿命を延ばす」 講師 岡山ヤクルト 管理栄養士	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康寿命の延ばし方について講演</li> <li>・健康寿命を延ばすには、日ごろから食事、運動、気持ちのバランスを考えた生活が大きく影響する。</li> <li>・大切なことは、少しずつ継続して実行すること。</li> </ul>	28	
12/23	ESD カフェ クリスマスパーティ&忘年会	<p>「ふれあいカフェ」のメンバーを中心に 独居老人を招待したパーティを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合う地域づくりの実践として認知され、参加者から「カフェに来るのが楽しみ」と言われるまでに成長している。</li> </ul>	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らし老人への楽しみと居場所の演出に努めた。</li> <li>・1年間の活動反省会も併せて行った。</li> <li>・参加者からは、主催者に対する1年間の謝辞、謝辞の挨拶でした。</li> </ul>
1/13	ESD カフェ カフェ新年会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寂しく一人でお正月を迎えた高齢者の元気付けの会を開催</li> <li>・ぜんざいとゲームで楽しい新年会を行い、今年の抱負を語りあった。</li> </ul>	18	
1/20	ESD カフェ ヤクルト和気工場の見学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山ヤクルト(株)の紹介によりカフェのメンバーで和気工場を見学し、予防医学の観点から日常生活に必要なことを学んだ。</li> </ul>	14	・帰路:鞆銅谷温泉でランチ
1/26	京山 ESD フェスティバルで活動発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェスティバルのテーマ「一人も取り残さない町をつくる」に沿って我々の「ふれあいカフェ」を紹介した。</li> <li>・あわせて、課題と方向についても意見を述べた。</li> </ul>	150	
2/20	講座会 講師 トマト銀行本店 三宅 クレジットカードの安全な使い方(メリット・デメリット)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレジットカードの仕組みを知り、自分に合ったカードの選択を学んだ。</li> <li>・消費税増税の経過措置として現在実施されているポイント還元制度について解説してもらった。</li> </ul>	20	

2/24	ESD カフェ 気功法から学ぶ健康法 講師 田中寛子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェ高齢者向けの健康法として気功法の基本を学んだ。</li> <li>・ゆっくりとした動きながら、筋力の維持強化に有効であり取り組みたい。</li> </ul>	17	
(年間) 39回	「ふれあい カフェ」 毎週 月曜日 13:00 ~ 16:00 場所:津倉町集会所	超高齢化社会に備えて「支え合う地域づくり」を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者、特に独居老人の生活支援を図る目的で毎週開催の「ふれあいカフェ」を開催した。</li> <li>・まずは、話し相手がない高齢者の居場所づくりから、生き甲斐につながる活動にして行く。</li> </ul>	毎週 12～ 15人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日ごとに、少しずつメニューに変化を持たせて飽きないよう、自分の好きなメニューが必ずあるよう…配慮した企画を実施した。</li> </ul>



(岡山市ESDプロジェクト参加事業)

令和元年度

# 活動報告

津倉わいわいESD

## 「支え合う地域」づくり

10月20日（日）津倉わいわいESDによる講座会が集会所で行われました。（参加者26名）

今回の講座は、地域の課題となっている「高齢者家庭の増加」による一般生活上の不安や支援の在り方について考える機会を得ました。



現状でも独居高齢者の急増、高齢化に伴う身体不自由者の増加などによって何らかの支援が必要な事象も見受けられます。今後、団塊の世代が後期高齢者の仲間入りすることを考慮するとますます超高齢化が進み町内会活動に影響が出てくることもあるでしょう。



こうした社会動向に対して岡山市も施策として「岡山市支え合い推進員」を配置して「支え合う地域社会づくり」を推進しています。今回の講座は、岡山市北区担当の藤村推進員を招いて「支え合い活動について」岡山市施策の現状と展望および他町内会の取組事例を学習しました。

津倉町地域においても、早急に取り組むべき課題が浮かび上がった様に感じました。今後、みんなで地域の実態に見合った「支え合い」を実行しましょう！！

まずは、どのような支援が必要なのか探ることから・・・

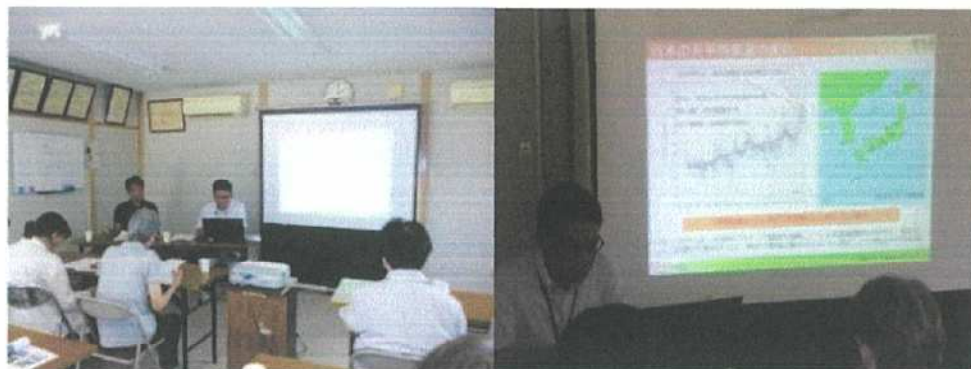
（資料提供の概要）

1. 高齢化率の推移、独居高齢者と認知症数の推移
2. 津倉町の現状（年齢構成比、高齢者率）
3. 多様化する地域の課題（今までの制度・仕組みを見直す時期）
4. 「支え合う地域づくり」の必要と継続の工夫（分子を減らす。分母増やす。）
5. カフェに参加するメリット（要介護認定率の低下、うつ病発症の低下）
6. 地域で役割のある高齢者は、長寿命化する（生きがい、自尊心の高まりが影響）
7. 岡山市生活支援体制整備事業（支え合い活動の充実、元気な高齢者の社会参加）

「支え合い地域づくり」の推進・・・見守り活動、近所の溜まり場、昼食会、一諸に買い物、ちょっとしたお手伝い、困りごと相談

出前講座 ～水害と備えについて～ ESDカフェ

線状降水帯に起因する大きな災害がここ数年全国で発生。昨年の西日本豪雨、今年も鹿児島地方を中心にした南九州地域の豪雨と日本のどこでも起きる現象になっています。津倉町もいつ起きてもおかしくない状況の中、7月8日（月）岡山市の河川防災室より2名の方をお迎えし、「**水害と備えについて**」の講座会を開催しました。



ここ数年、豪雨の回数は増えてるのに、雨の降る日は減っているとの事で、**短時間に集中して雨が降る傾向**に変化してきている。昨年7月の豪雨も岡山市内では、24時間雨量197mm（観測史上2位）48時間雨量306mm（観測史上1位）と岡山市内でも多くの被害が出ています。

岡山平野は、元々「吉備の穴海」と呼ばれる内海に覆われていたが、大規模な干拓事業によって作り出された海拔ゼロメートル地帯が広がっており、ゼロメートル地帯の面積は230km<sup>2</sup>と全国で2番目の広さだそうです。

**岡山市が最大想定規模の洪水浸水想定では、津倉町集会所付近の想定浸水は3.0～5.0mと想定しています。**

（昭和51年に小豆島で48時間雨量1,076mmを記録した雨で想定）

岡山市では事前対策として、ハード対策（市管理の河川の改修や維持管理、下水道やポンプ場の整備、施設の点検や操作訓練等）とソフト対策（洪水・土砂災害ハザードマップの作成と公表、内水ハザードマップの作成の公表、出前講座の実施等）を実施されてますが市民もそれぞれに事前対策が必要で、

## 1. 大雨に備えて、土と土のう袋を準備

\* 岡山ドーム東側私有地にて定期的に配布…今後の予定：7/23 8/31 に実施

\* 津倉町町内会でもたこ公園内に土、倉庫に土のう袋準備

## 2. 助成制度活用による止水版設置や戸別雨水貯留タンク設置。

\* 詳細に対しては岡山市下水道保全課に問い合わせして下さい。

日頃からの備えとして、避難場所と避難ルートの確認、非常時の持ち出し品の整理、大雨が降ってきたら、正確な情報収集と自主的避難を行うことが重要で、まだ大丈夫だろうと思って亡くなった方がいたかもしれません。**今、逃げなければ自分や大事な人の命が失われるとの意識を忘れずに行動することが重要であると再認識**しました。



## ESD 学習会（キャッシュレス決済）を開催

2月20日（木）19時から津倉町集会所においてESD主催の「キャッシュレス決済の活用方法」と「消費者還元制度」についての学習会が開催されました。

講師には、トマト銀行本店から営業統括部 三宅部長代理をお招きして、最新情報を交えた有意義なお話をし  
て頂きました。

現在、消費税増税の経過措置として「ポイント還元」が実施されていますが、利用されている人もキャッシュレス決済によって何時、どのように還元されるのか不明だった点が明らかになりました。さらに、ほとんど現金払いの人には「ポイント還元」のメリットを解り易く教えていただき参考になったと思います。



また、クレジットカードの仕組みなど基礎知識を図式で解説していただき、カードのメリット・デメリットが  
良く理解できたと思います。

カードは、大まかに3種類に分類され、**クレジット（後払い）**、**電子マネー（前払い：事前チャージ）**、**デビ  
ット（口座即時払い）**には、それぞれにメリット、デメリットがあります。その為、使い分けをすることが重  
要だとの認識を持ちました。金融トラブルの多い時代にあって、高齢者に比較的安全なカードとしては「デビ  
ットカード」がお勧めという講師からの意見がありました。特徴として、使用可能額が銀行口座残高内となる  
ため使い過ぎが防げるうえ、ネットやポイント還元を利用できます。

さて、皆さんはどのカードをどのようにお使いになるでしょうか？ ポイント還元もしっかり受け取って  
い！

### 苔玉作りにチャレンジ・・・ESD カフェ

6月10日(月)講師に「宮崎早苗」先生をお迎えし、流行の苔玉作りにチャレンジしました。

講師の「宮崎早苗」先生とアシスタントの小槇敏子さん



苔玉(こけだま)とは、植物の根を土で球状に包み、そのまわりにコケ植物を張り付け糸で固定したものです。難しいのではと皆さん最初は緊張されてましたが、意外に簡単に出来上がり、それぞれ出来映えに満足されてました。



### ガラスペンダント作り・・・ESDカフェ

7月15日(月) ガラスフェーシング講師の「横木 真由美」先生をお迎えしガラスペンダント作りを実施しました。当日は、海の日でもあり町内在住の子ども達も多数参加～今までのカフェ以上に賑やかな1日となりました。



ガラスフュージングとはガラスとガラスを釜で溶かしてお皿や時計、アクセサリーなどが作れます。



今回は先生がカットされたものを、それぞれが工夫して好みの作品を作っていました。



・自分だけのオリジナル作品 ・大好きな人へのプレゼントに と皆さんそれぞれ目的をもって参加～色の組み合わせ等“ワイワイがやがや”とお気に入りのデザインに仕上げていきました。出来上がった作品を先生が持ち帰り釜で焼き上げて頂けるとの事～完成を楽しみにされていました。



## パクパクポーチ作り実施・・・ESD カフェ

7月1日（月）カフェのメンバーの小槇敏子さん指導の下、パクパクポーチ作りを実施。材料等はメンバーの方からの好意で準備。

パクパクポーチは、片手で開け閉めができてとても使い易く、化粧品入れ、ポイントカード入れ、カバンの中の小物の整頓用といろいろな用途で使うことができ、贈り物としてもとても最適です。

約2時間弱で、皆さんお気に入りのオリジナルパクパクポーチが完成～満足されてました。



## 完成したパクパクポーチ



\*津倉 ESD カフェは毎週月曜日 13時～津倉町集会所にて開催しています。

「もも太郎体操」に始まり、簡単な小物雑貨作り、又、岡山市、北ふれあいセンターの協力を得て、出前講座も定期的に開催しております。

津倉町町内に在住の方ならどなたでも参加 OK です。気軽にお越し下さい。特に男性の方の参加お待ちしております。囲碁、将棋も準備してます。

## ESD 手芸教室の開催

10月21日（月）、毎週開催の「ESD ふれあいカフェ」が集会所で行われました。ももたろう体操で身体をほぐした後は、メンバーお待ちかねの手芸コーナーです。

今回は、季節にちなんだ和の趣向で「松ぼっくりツリー」を製作した細川展子さんの作品を見て感動したというメンバーが多かったため開催されたものです。



この作品は、実物の松ぼっくりの傘隙間にきらびやかな玉や彩り鮮やかな玉、清楚な色合いの玉をはめ込んで置き場所に合わせたオリジナルツリーを完成させるもの。

したがって、数多くの玉が必要な訳ですが、運よく講師の細川さんのお姉様が2,000個余りの玉芯（粘土製）を提供してくださり作業が順調に進行したようです。

参加者は13名でしたが、細川講師の指導の下で皆さん根気よく「小さな布玉」を黙々と作る時間を経て、次はいよいよ自分のセンス、感覚でその玉を松ぼっくり傘の隙間にはめ込んで完成です。





やはり、最後の仕上げ感覚は人それぞれ、時間をかけて丁寧な仕上がりとなりました。

最初は簡単な手芸のように思われましたが、自分の個性が発揮できる手芸であることが分ると秋祭りの日にも関わらず、皆さん時間を忘れて本当に没頭されていました。そして、参加者全員から「楽しかった！」と……。

講師の細川展子さんには一同感謝。心よりお礼申し上げます。

次回の手芸は、11月11日（月）の今流行りの「ハーバリウムのボールペン」作りです。小学生の子供たちも参加予定ですが、さてどのような「オリジナルペン」が出来上がるのでしょうか！！

## ESDで「ハーバリウム・ボールペン」の作成

11月11日（月）ESDの手芸教室が集会所で開催されました。今回は、いま流行りの「ハーバリウム・ボールペン」作成を小模敏子さんを講師に迎えて楽しく行われました。



参加者は、小学生からESD高齢者まで30名に及び、大変な人気ぶりでした。特に小学生は17名に、お母さんと一緒に参加されるなど会場は大盛り上がりでした。中には、ひとりで10本作った人もいた様でした。



クリスマスも間近かとあって、「1本は自分に、もう1本は友達にプレゼントする」という人が多かったようで、皆さん2本セットで作成されました。



作業は簡単ですが、ペン軸のハーバリウムに入れる素材（ドライフラワー、ラメ、ビーズ、真珠、プリザーブドフラワー、金粉、ネイルグリッターなど）は様々であり、**作る人の個性がオリジナル作品として現れます。**素材をいっぱい詰めるとハーバリウムの中で動きが悪い。また、少なすぎると動きに変化がない等バランスがなかなか難しい様子でした。



中には作品の仕上がりを見て自画自賛する人、他人の作品を羨ましがる人、失敗を悔やむ人あり・・・でしたが、皆さんとも満足、満足だったようです。



子供達が大勢参加した会場は、熱気むんむんで、いろいろな所から「**すっごくきれい**」「**色がかわいい**」など感嘆の声が聞かれる。せっかく綺麗なボールペンが出来たのだから、次はこのペンで**きれいな字が書けないとネ**・・・と殊勝な子もいました。

## クリスマス オーナメント（装飾品）づくり

12月9日（月）、津倉わいわいESDにおいて「クリスマス オーナメント（飾り）」づくりをカフェ参加の皆さんで行いました。最初は、「難しそう〜」と言っていた人も造って見ればとても簡単で、あっという間に一人で3個を仕上げました。個人ごとのセンスにより色取り、形などいろいろです。



仕上がりを見ると、作品それぞれに表情があり可愛い帽子のオーナメントが出来たと思います。材料が意外にもトイレットペーパーの中芯と毛糸というのも楽しいカフェの手芸となりました。

## ハンドタオルでベア作り

2月10日（月）、ESD カフェの手芸教室を行いました。各自持ち寄った可愛いタオルを使って、マスコットのベア作りです。

自分のお気に入りの色タオルが小槇講師の指導により、あっという間に可愛い熊さんに変身！ 皆さん大喜びで、どこに飾ろうか？何に使おうか？・・・と。

ベアにメッセージカードを持たせれば、これからの季節「卒業」「入学」「就職」のお祝いに添えて差し上げると very good でしょう。



## 伊島小2年生が「たこ公園」で課外探訪

6月21日（金）伊島小学校2年生（約60名）が課外学習（施設の探検学習）のため「たこ公園」を訪れました。9:50～11:00 までの間、10 人程度のグループに分かれた児童が先生や保護者に付き添われて順次、来訪しました。

今年も事前に伊島小学校から「たこ公園に関する質問事項」が届けられ、説明依頼を受けた小槇章生（ESD 代表）が町内会の威信をかけて丁寧に対応しました。



児童は、それぞれ質問の回答をもらう度に真剣に記録しているのが印象的でした。特に「何故この場所に公園が造られたのか?」「なぜ公園にタコのモニュメントがあるのか?」という素朴な疑問が全員にあったようです。入れ替わり立ち代りの目まぐるしい質問攻めでしたが、一生懸命に探検している姿は、可愛らしくも一方で「たくましさ」を感じさせる光景でした。

想定外の発見もあったようで、ざわつく場面がありました。花壇の「雷紋」やラジオ塔下のラジオ体操やお茶会、また公園が出来るまでは周辺が田ばかりだったことが信じられない・・・と。



（子ども達の主な質問事項）

①たこ公園という名前の由来について ②モニュメントの蛸は何故ですか ③公園は、どのように使われていますか ④ラジオ塔は、何のためにこの場所に造られたのか ⑤公園は、誰がいつ造ったのか ⑥人気の遊具は何ですか・・・など。子どもの疑問は、尽きないようでした。さらに、公園内の施設や遺物が約80年前に造られたものと知ると、一様にビックリした様子で「私のおじいちゃんより年上だ」と言う子もいました。参考資料として、昭和20年撮影の「津倉周辺写真（空襲前に米軍撮影）」、NHK 放映の公園写真、「津倉町変遷史（電子情報部）」「ラジオ塔大百科（一幡公平著）」を活用して丁寧に説明しました。

## 伊島小2年生が「課外探検」学習でたこ公園へ

10月4日（金）伊島小学校2年生が、「課外探検」学習のためにたこ公園を訪れました。午前10時、児童31人が先生・保護者に付き添われて元気よく楽しそうなおしゃべりしながらの来園でした。

今年も事前に伊島小学校から「たこ公園に関する質問事項」が届けられ、指名を受けた中田昭久氏と小横章生氏が知る限りの情報や事象を基に対応しました。



児童は、事前質問の回答をもらう度に丁寧に記録しているかと思えば、「なんのために公園は造られたのか?」「何故、たこのモニュメントがあるのですか?」という素朴な質問が急に飛び出したりと・・・興味津々のようでした。また、初めて見るラジオ塔には一段と疑問が湧いたらしく、いろいろな質問が出ました。一方で「この公園を今後どのように使われたら嬉しいですか?」といった大人っぽい質問には、回答する方も慎重に話さなければならない場面もあって、子供の鋭い視点に感心することしきりでした。

今回も花壇の「雷紋」についての説明には、関心のある子が多くあったようです。



#### (子ども達の主な質問事項)

- ①たこ公園は、いつ造られたのか
- ②公園は、どのように使われていますか
- ③誰が公園清掃をしていますか
- ④ラジオ塔は、何のためにこの場所に造られたのか
- ⑤公園で大変だなと思うことはありますか・・・

参考資料として、大正10年作成の津倉周辺地図、ラジオ体操&お月見茶会写真、「ラジオ塔大百科(一幡公平著)」を活用して丁寧に説明しました。

## お好み焼きパーティ開催・・・津倉わいわいESD

8月20日(月) ESDカフェのメンバーの方々と町内在住の小学生によるお好み焼きパーティが集会所にて開催されました。

今年は、津倉夏祭りが中止になり、子ども達に夏休みの思い出を残したいとの“おばあちゃん”方の発案で開催。子ども達も多く参加～お好み焼き、焼きそば、おにぎりに満腹状態に！！



その後、オセロゲーム、カルタ取り、トランプのゲームに短い時間でしたが楽しい一時を過ごせたのではないかと思います。



今後も出来る限りこのようなふれあいの場を提供し、町内在住のお年寄りと子ども達のコミュニケーションが取れるよう発展させていきたいと考えています。

ESDカフェ・・・毎週月曜日開催(13:00~16:00) 津倉町集会所にて  
気楽にご参加下さい。\*参加費¥100

## ふれあいイベント開催・・・津倉わいわいESD

8月25日(日)、子ども達の夏休みの思い出作り、又、ESDカフェメンバーの皆さんとの交流の場として、ふれあいイベントを開催しました。

子ども達は、公園にてペタンク実施。3名×1チーム(4チーム)のトーナメント制にて実施。みんな初めての体験～最初は戸惑いながらボールを投げていた子も、慣れてくると素晴らしいコントロールで投げ、一投ごとに状況が変わる大混戦。



参加者メンバー

優勝チームメンバー



その間に、メンバーの女性軍が、おでん、焼きそば、赤飯のおにぎり作りに奮闘。

ペタンク終了後には、皆さん楽しみのビンゴゲームがスタート。いち早くビンゴ達成者が出る一方、リーチが掛かるも中々ビンゴしない方もあり、会場内は大盛り上がり！！



ゲーム終了後、みんなで女性軍手作りの料理にお腹も満足！！その後、子ども達はゲームに、大人は井戸端会議に花を咲かせふれあいイベントが終了。



今後も出来る限りこのようなふれあいの場を提供し、町内在住のお年寄りと子ども達のコミュニケーションが  
取れるようになっていきたいと思います

## 津倉町町内会展示会（習字・布花）とお月見茶会を開催

日 時 9月29日（日） 13時30分～17時

場 所 津倉町集会所とたこ公園

参加者 92名（一般72名 小学生20名）

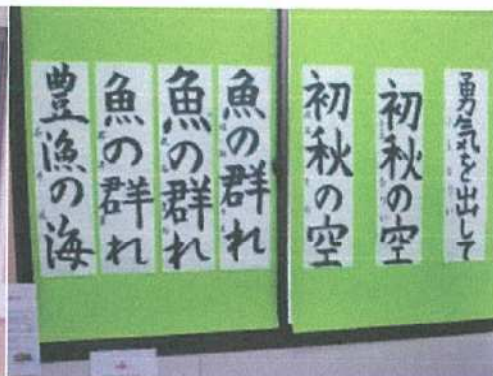
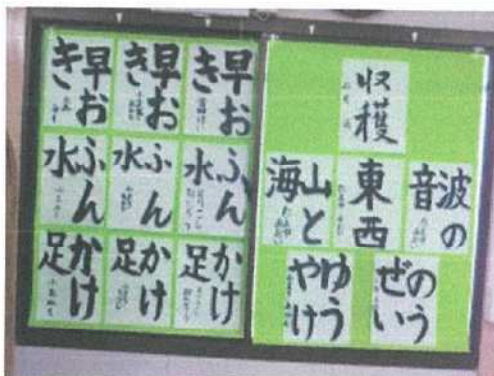


このところスッキリしない天気でしたが今日は町内で展示会や野点を行うため  
お天道様も協力してくれました。



#### <展示会>

「習字」と「布花」の日頃の勉強成果を展示、いずれも力作揃いで  
「よくできている」「立派な字だ」・・・などの評をいただきました。  
また 町のお宝<獅子頭>の晴れ姿をお披露目しました。



## <お月見茶会>

緑のじゅうたんを敷き詰めた芝生上において、小学生による”野点” ”お運び”で町内の皆様をご接待！！「岡山歴史まちしるべ」の指定を受けている ラジオ塔から流れる琴の音を聞きながら・・・至福のひと時でした。

小槇先生には子ども達の指導、備品の提供など大変ありがとうございました。

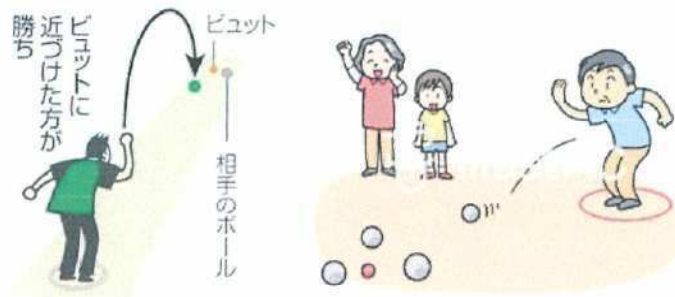


今回のようなイベントにより 町内に住みながらも日頃ご無沙汰の方が旧交を温めあうのは良い機会と思います。 またご参加ください。

## ESD ペタンク大会を開催

毎週開催のESDふれあいカフェのメンバーで「ペタンク愛好会（16名）」が発足しました。

フランス生まれの手軽なスポーツ「ペタンク」は、いま全国でブームになっていますが高齢者でも運動量が少なく誰でも気軽にプレーできる。



以前からカフェのメンバーは、用具を借りながらプレーを楽しんでいましたが、このたび自前の用具一式を購入し本格的にやろうということになった！

早速12月16日（月）、第一回わいわい賞大会が行われました。参加は13名でしたが、最初の大会とあって、参加の皆さんは一樣に緊張とやる気満々の雰囲気を感じられる。試合は、3名で1チームを構成し、一人で2投（チーム6投）するルールである。これは、テレビでお馴染みのカーリングとほぼ同じゲームである。



試合は最初から接戦となり、最後まで行方の分からない展開となりましたが、3人のチームワークが良く気合の度合いが高かった「大森、谷口、荒木チーム」が優勝となりました。最後は、皆さん「最高に楽しい・・・」と。

毎月、第3月曜日に「ペタンク大会」をすることに決定しました。

## ESD 桃太郎体操